

専門教育科目

講義科目

授業科目名	高齢者心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	杉山 美香	HJ19	1	2

科目の概要

かつて老年期は、人生区分の最終段階であり、身体の老化とともに心理的衰退をみる時期とされていた。しかし、超高齢社会を迎えている現在においては、あてはまらなくなっていると言ってもいいのではないか。

本科目では、老年期における心理を、幼児期から成人期までの発達段階での生き方を通して学んでいく。将来の自分の姿の投影として学ぶことで、より理解も深まる。

科目の到達目標

- ①加齢に関する変化や、高齢者特有の精神疾患とその対応について説明することができる。
- ②高齢者を取り巻く制度や社会について説明することができ、高齢者心理学に関する理論を基に、自分の考えを理論的に述べることができる。

テキスト

『最新老年心理学』松田 修, ワールドプランニング, 2018年

テキストの読み方

- ①基礎的心理学的研究として「高齢化」「加齢と発達」「発達心理学」「感覚・知覚」「認知機能」「言語」「記憶」「ワーキングメモリー」「パーソナリティ」「自己決定」などについての理解を深めること。
- ②応用的研究として「高齢者の社会関係・社会活動」「老年期の臨床心理」では、社会的孤立やソーシャルサポート、認知症などについて理解すること。
- ③老年精神医療における老年心理学の応用として「認知症支援」や「フレイル予防」について、また「心理学的援助」「神経心理学的なアセスメント方法」について学ぶこと。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
- または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。